

創業120周年。いま、行動を起こす時。

弊社は1903年(明治36年)に神戸・元町で発祥し、

おかげさまで本年2月、創業120周年を迎えたしました。

その間、経営環境は大きく変動しましたが、

幾多の困難を乗り越えて歩みを進める事が出来ました。

これもひとえに、お取引先様の永年にわたるご愛顧、ご指導、

ご支援の賜物であり、改めまして心より感謝を申し上げます。

「斬新でなければ商売はできない」

それが、初代社長の竹馬隼三郎(ちくまじゅんざぶろう)の口癖のひとつでした。

まだ着物が主流であった時代に「これからは洋装だ」と、羅紗(ラシャ)の商店を興しました。

我々は今、斬新な事ができているだろうか。

こと制服業界においては、少子化や価値観の多様化といった課題が山積しており、

現状を打破する何かが求められています。

また業種を問わず、すべての企業に、カーボンニュートラルをはじめとした

サステナブルな社会の実現に貢献できる取り組みが求められています。

次の120年に向かって、今、行動を起こす時。

我々は創業120周年を機に、「自ら付加価値を創造し、

新たなマーケットを開拓して行く企業」を目指すことを誓いました。

今後はより一層、お取引先様のお役に立つ企業を目指して行動を起こして参ります。

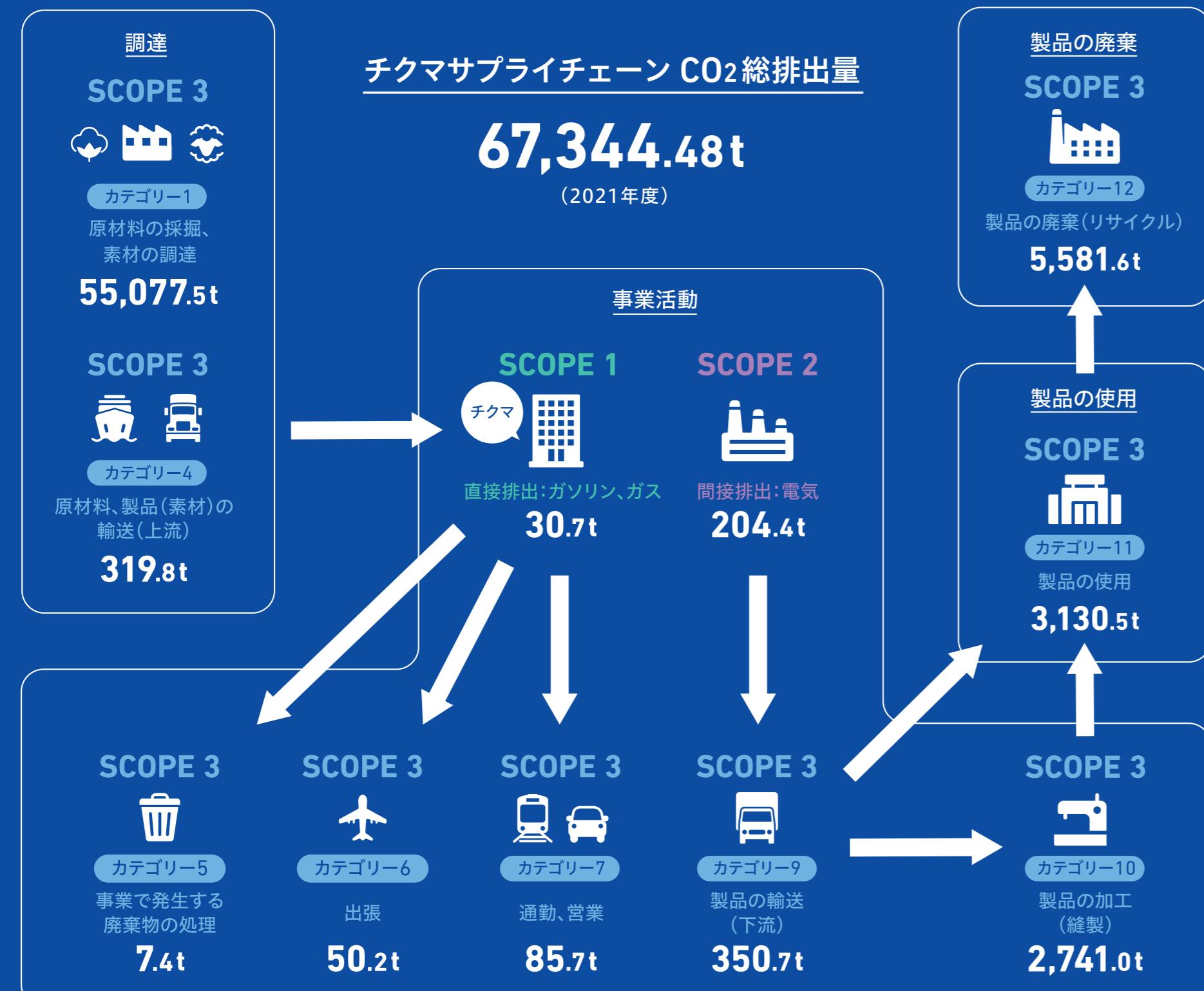
引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 堀松 渉



# ACTION! for the future

チクマは真にサステナブルな社会の実現に向け、すでに動き出しています。



## GHGプロトコルによるCO2削減目標を設定

チクマはGHGプロトコル<sup>\*</sup>に基づきサプライチェーンにおけるCO2排出量の算定に取り組んでいます。2030年は30%削減、2050年には100%削減(CO2排出量実質ゼロ)という明確な目標を掲げ、加速的にカーボンニュートラルの取り組みを進めています。

\*GHGプロトコルとは、温室効果ガス(Greenhouse Gas:GHG)の排出量を算定・報告する際の国際的な基準です。温室効果ガスを、排出のされ方や排出者などによって「スコープ1(直接排出量)」「スコープ2(間接排出量)」「スコープ3(そのほかの排出量)」の3つの区分に分け、その合計を「サプライチェーン全体の排出量」と考えます。

## 「GHGプロトコル」算定によるカーボンニュートラル達成目標

